

槍ヶ岳～憧れの北アルプス～

【報告者】K出、I本

【日時】2018年9月22日～23日 【天候】雨のち快晴

【参加者】K出、I本

《コースタイム》

1日目 04:33 河童橋⇒09:16 槍沢ロッジ⇒11:59 槍沢・天狗原⇒14:24 ヒュッテ大槍

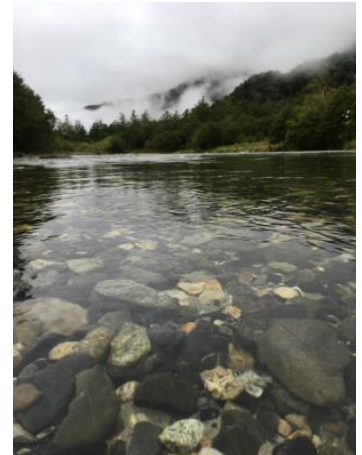
2日目 ヒュッテ大槍⇒06:06 槍ヶ岳山荘⇒06:33 槍ヶ岳山頂⇒10:51 槍平小屋⇒14:39 穂高平小屋
⇒15:26 新穂高ロープウェイ

《報告》

みなさまお久しぶりです。I本です。今回の山行でようやく山岳会員と（元だけど）堂々と言えるようになったかなあと思いつつ、報告書を書いています。

福岡を後にする直前の昨年12月、K出さんと「9月に北アルプスに行こう！」と決めたのが発端のこの山行。9ヶ月間で体力つけて登りに行くぞー！と意気込んでいましたが一年の3/4のなんと早いこと…。多少家の周りを走ったりしたのですが、体力がついた実感もないままあつという間に当日を迎えることになりました。

■0日目：K出さんとは前日に上高地で合流なので高速バスで向かいます。到着するもあいにくの小雨。即ザックカバーを装着し、しばらく川沿いの遊歩道を歩いて散策します。登山客も何人も見ましたが、みんな雨具の上から傘をさすのが不思議でした。宿に先に入り、休んでいるとK出さんが到着。明日は早朝発なので上高地の景色を夕方のうちに見ておきます。夕食もお風呂もばっちり堪能し、なんだか観光感覚のようで、山に来た緊張感が薄いまま就寝、爆睡。



■1日目：3時半に起床し塩気のきいたお弁当を食べ、まだ真っ暗な4:30にスタート。真っ暗で雨が降りしきり、景色も見れない中ひたすら平たんな道をずんずん進みます。明るくなってきたころ横尾でトイレ休憩。ここでK出さんのザックのベルトがちぎれるというハプニングがありましたが、以前救助訓練で聞いて細引きを携行していたので仮止めが出来てラッキーでした。



雨でずっとどんよりした景色でしたが槍見河原で初めて槍ヶ岳を目にし、ようやくあれに登るんだ！と実感が湧いてきました。その後槍沢ロッジの手前からようやく登りになり、ここでそれまで感じていなかったザックの重み(8kg)がのしかかってきて、自分の体力に不安がよぎります。

槍沢ロッジで残りのおにぎりや栄養補給とお土産を物色。沢状の道歩きで足置きが雑だった為右足首に違和感を感じたので、テーピングをしてから後半に挑みます。

その後大曲から天狗原分岐までの途中で急速に
天気が回復し一気に快晴になり、景色も鮮やかさを
増して爽快な気分になります。ちょっと期待してい
た紅葉はまだまだで、ところどころ黄色い葉がある
かな、と言ったところ。それでも山と山の間から
白々と川が蛇行して流れてくる景色は、子供のころに見た絵本の世界のような、非現実的な美しさでし
た。そんな景色を目の当たりにし思ったことは…

「やばい、すでに足と腰が疲れた」

ここからヒュッテまではまだまだあるものの、じりじりとしか歩けず思いのほか進まず焦りがでます。
当たり前ですが平地をちょろっと走ったぐらいでは体力なんかつかないんだよと自分をぶんぐって
やりたい気分でした。K出さんに「足痛い？キツイ？」と聞かれ「いや、ただキツイです」と答えると
「それはしかたない、がんばろー！」と、まるでリハビリをだらける患者と先生の会話のようなやり取
りを繰り返して、高度をあげます。やがて展望が開け、槍の先が青空に映えるポイントに差し掛かる
とテンションだけはMAX！写真を撮るときだけカラ
元気！！それ以降はまたおばあちゃんになったか
のような体の重さを引きずり一步一步進みます。

分岐の標識が今日の宿泊予定のヒュッテ大槍を
差し示し、いよいよ今日のゴールまであと少し…！
と希望の光が見えたのもつかの間、今回のコースで
最も体力的にキツイのはこの稜線上のヒュッテへ
上がる急登でした。見上げてだいたい先にばらばら人
が見えるけど、まさか自分があそこまで行くんじや
ないだろうな、と思ったら大正解で軽い絶望感すら
感じたほどでした。ぐだぐだ言いながらどうにか到着すると、小屋と同時に周りの山々が目に飛び込ん
できて、疲労と感動でしばし茫然…でした。

ヒュッテ大槍はとてもかわいらしい山小屋でしたが、食事も豪華だし山
の上なのに黒生が飲める（入れ方も上手）というところがとってもすばら
しかったです。身支度を整え黒生で乾杯！実はひそかに誕生日だったので、
K出さんから手ぬぐい（♪Happy Birthday To You の歌付き）のプレゼン
トをいただきました。なんていい誕生日なんだ！

山の中で泊まるなんて去年の富士山が初めてでしたが、初めて見る 3000
m級の山々を前に、一步一步地道に進めばこんな高いところに来れるんだ
なあと今更ながらしみじみ感動でした。期待していた星空こそ中秋の名月
の光であまり見れませんでした。槍ヶ岳の雄姿をしっかりと目に焼き付け、
翌日のアタックに備えて就寝したのでした。



■2日目：3時頃から周りがバタバタと支度を開始。浅い睡眠の後、4時に起床しました。お弁当を小屋でいただき、5時頃小屋を出発。すでに周囲は明るくなり始めています。ヒュッテ大槍から槍ヶ岳山荘に向かい、稜線を歩いていると殺生ヒュッテから御来光を眺めるために待機している人々が。我々も足を止めて、しばし美しい一日の始まりを眺めました。ヒュッテ大槍から槍ヶ岳山荘までは大体 40～50



分程度。槍ヶ岳山荘にザックをデポして、ヘルメットを装着して、いざ槍ヶ岳山頂を目指します。心配していた混雑もなく、スムーズに山頂まで登れました。山頂には先客が4,5人ほど。のんびりと山頂の風景を楽しめました。下りも少し渋滞はありましたが、予想外にスムーズでした。槍ヶ岳周囲の混雑について「下手したら3時間待ち(!!)」などという噂もあったので時間を多めにしておいたのですが、結果的には8時前には槍ヶ岳山荘を出発することができたため、槍平小屋に泊まる予定だったのを一気に

に新穂高温泉まで下山する方針に変更しました。飛騨乗越を経由して槍平小屋へ。小屋でカレーをいただき、パワーチャージした後さらに下ります。

1時間ほど歩いたところで滝谷出合へ。昨日までの雨でいつもより増水しており、しばしどこから渡渉するかを迷い河原で右往左往…。結局比較的浅いところを見つけ、靴を脱いで渡渉しました。沢の水はととてもとても冷たかったです。単調な歩きが続き、ちょっと飽き始めてきたところでしたが、おかげでいい刺激になりました。その後はさらに単調な下り…白出沢出合の後には約1時間半林道を歩き、15時半に無事新穂高温泉に下山しました。

さて、ここからが大問題で、もともと山小屋泊の予定だった我々は宿を確保していません。平湯温泉ならどこか泊まれるんじゃないかとそのまま濃飛バスに飛び乗りました。ホームページで見つけた温泉宿に当日宿泊の電話をかけるも、満室だったり夕

食の準備が間に合わないと断られたり。しかし捨てる神あれば拾う神あり。「旅館たなか」(1泊2食付き、源泉かけ流し温泉付き♡)に宿泊可能とのこと！少し予算はオーバーしていましたが、喜び勇んで向かいました。後で聞いてみたら、もともと6人の予約が入っていたところ槍ヶ岳から下山が間に合わず(?詳細は不明)当日キャンセルが出たところだったそうです。助かりましたー！その夜は美味しいごはん和日本酒と温泉とふかふかの布団を堪能できたのでした。20時には爆睡。



■3日目(おまけ)：翌日は高山観光へ。古い町並みをぐるぐる歩き回り、試飲も含めて色々な日本酒を楽しみました。I本さんのこだわりと深い知識に感銘を受け、私はただただ彼女についていただけなのでした…

<感想>

I本：一番の反省点は、事前に段階的に登山をして体を慣らしておかなかったことです。天候が良かったので何とかりましたが、周囲のことに気を配れる余裕は残しておくべきだと思います。また、そろそろ初心者とも言えないのに未だ「ついていく」意識が消えていないので、もっと主体的にならなければいけないと思いました。体力がないことで余計な心配をおかけしましたが、一緒に行ってくれたK出さんに改めて感謝したいと思います。山も食もお酒も温泉も…存分に楽しむことが出来ました。

ちょっと開いてしまいましたが、これからこちらでも山岳会に入り（今一夫妻の山岳会です）カレンダー通りの休みをフルに使って山遊びに勤しむつもりでいます。山はやっぱりすばらしい！！

K出：もともと槍ヶ岳について特に強い思い出があったわけではなく、アクセスやコースの難易度、日程的から勘案し、今回登ることにしたのですが、実際に登ってみると素晴らしくカッコいい山でした。朝は朝の、昼は昼の、夜は夜の格好良さがあり、何枚も写真を撮ってしまいました。

ザックのベルトが切れた件ですが、後程購入したラリーグラスにもっていくと、リコールが出ており、無事交換してもらえそうです。横尾でベルトが切れた時はほんとに失神しそうでしたが、準備のいいI本さんに助けられました。今後は私も細引きを持ち歩きます。

《ルート図》

